島根県看護協会
2023年 3月
松江支部だより
しののめ
Vol.78
島根県松江市西津田8丁目8-8
松 江 生 協 病 院
TEL（0852）23－1111
発行責任者　出 來 弘 恵
会員数 1,956名（1月29日現在）

支部研修会について

松江生協病院　出 來 弘 恵

令和4年11月12日（土）のグリーフケア研修会は開催側の都合により急遽中止となり、参加を予定していただいた皆様と関係者様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今年度は研修会を開催することができず、とても残念に思っています。

各病院・施設等ではコロナ感染症の第８波による影響で、多忙な業務そして長期化する面会制限等で思うような支援ができない状況も続いているのではないでしょうか。

皆様にぜひ聞いて欲しいテーマであると思っています。

下記日程で研修会を企画しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

令和5年度松江支部総会&第1回研修会のお知らせ

- 日　時：2023年6月24日（土）
  〔支部総会〕9：30から開始予定　〔研修会〕支部総会終了後予定
- 場　所：テクノアークしまね
- テーマ：「看護職が行うグリーフケア、心に寄り添うグリーフケア」
  悲しみから立ち直り生きるために、私たちができること
- 講　師：吉本　歩 先生〈松江市立病院　がん専門看護師〉

◎ 詳細については決定次第改めてお知らせいたします。

看護協会松江支部のキャリナース登録は3割弱と低いので、みなさん この機会にお願いします。

ご存じですか？　あなたのキャリアアップを応援します

キャリナースに登録お願いします。QRコードで簡単アクセス！

キャリナース

キャリア構築を支援する会員おひとりおひとりの専用ページです。
ユーザー登録すると会員情報の確認や変更、研修受講履歴の閲覧が可能になります。また、文献検索や各種資料など看護業務に役立つ魅力的なコンテンツもご覧いただけます！　住所変更なども可能です。 是非登録して活用してください。

＊日本看護協会または島根県看護協会のホームページからアクセスできます。

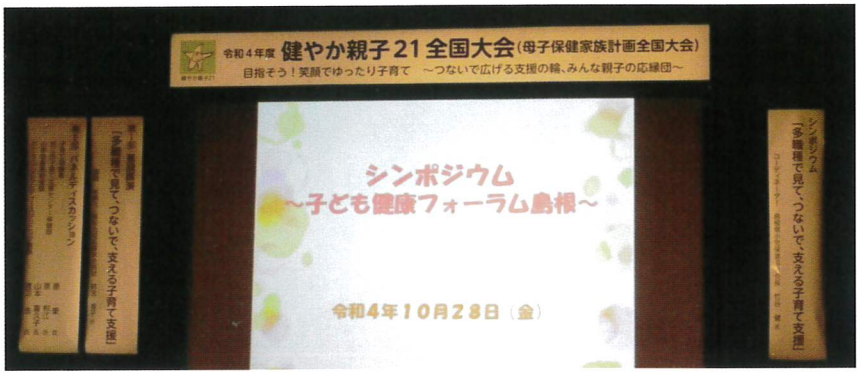
トピックス 「健やか親子21 全国大会を開催しました」

島根県健康福祉部健康推進課　西　明美

健やか親子21全国大会は、全国持ち回りで毎年開催され、今年度は10月27日(木)、28日(金)の2日間、島根県民会館で開催しました。島根県では、昭和49年以来48年ぶりの開催となりました。

大会テーマは「目指そう！笑顔でゆったり子育て～つないで広げる支援の輪、みんな親子の応縁団～」とし、現代の子育てを取り巻く状況や親子に寄り添う支援に関する講演など、延べ600人の参加がありました。

2日目のシンポジウムでは、島根県における妊娠期からの多職種連携による子育て支援の取組を全国に発信し、保健師と助産師の取組の報告もありました。あらためて子育ては親だけが担うのではなく、社会全体がつながり、支えていく必要性を確認しました。



コロナ禍により、孤立した子育てと向き合う状況は一層進んでいます。私たち看護職は、保健・医療・福祉など、それぞれの持ち場で子育て家庭に出会います。子どもを見て、親を見て、家庭を見て、親子の見えないＳＯＳに気づいて、受け止めて、つなげることが必要です。令和5年度にはこども家庭庁が設置され、子ども政策は一元化され、これまで以上に多職種・多機関連携が求められます。それぞれの持つ強みを活かして、垣根を越え、抱え込まず、看護職同士がつながり、子育て家庭を支えていきましょう。

職場紹介 病棟デイリハビリテーションを紹介します。（5階東脳神経センター）

松江赤十字病院　金山　望

5階東脳神経センターは、脳卒中・脳腫瘍・神経難病などの脳神経疾患専門の病棟です。脳組織循環の変調や環境変化によりせん妄ハイリスクとなり、安全管理のため体動センサーを使用せざるをえない患者さんが多くジレンマを感じることがあります。そこで、急性期に全身管理をした上で、患者さんのQOLの維持向上を図ることや生活リズムを整えることでせん妄予防なども目的に病棟デイリハビリテーション（以下デイリハ）を行っています。

デイリハでは季節や時間、今いる場所について話すことで見当識障害の解消に繋がるリアリティオリエンテーションや一人一人患者さんに合わせて体操・塗り絵・カラオケ・風船バレーなどのレクリエーションを行っています。

患者さんがお互いに自分自身の生活背景について話されたり、積極的にレクリエーションに参加されたりと笑顔の絶えない時間となっています。また、デイリハを通して高齢患者さんとの関わり方の理解をより深めることができ、私達看護師にも良い学びと影響をもたらしています。デイリハで体動センサーがならない時間は、看護師の安心にもつながります。

新型コロナウイルス感染症の影響下でも感染対策を徹底しながら、日々スタッフ間で協力して取り組んでいます。是非みなさんの病棟でも取り組んでみてはいかがでしょうか？

トピックス「私たちにできること」

医療法人 同仁会 こなんホスピタル　青木　誠

コロナ禍で、どの施設においても様々制限を課せられている中、当院も面会をはじめ様々な治療プログラムも制限を行っています。当院は、アルコール依存症の治療拠点医療機関と松江圏域の認知症疾患医療センター（連携型）に指定を受けています。

特にアルコール健康障害の治療だけでなく、各依存症に関する情報発信や啓発活動にも取り組んでいます。アルコールミーティングなど治療プログラムに参加していただき、断酒の意味や断酒生活を送るための基礎的な事柄を身に着けていただけるように支援を行い、断酒会など自助グループに積極的に参加していただくことで、同じ経験者の体験を聞き、飲酒生活を振り返ると同時に、社会で生活できる自信の回復するきっかけを提供していました。

現在は、リモートで参加したり場所を分散したり、できる工夫を行いながら提供しています。そのため、患者様に対して十分なプログラムを提供できているのか葛藤することもあります。

まだ、この状態が続く中で対象となる患者様にとって最善の治療、プログラムが提供できるよう創意工夫し他部署と協働していきたいと考えています。

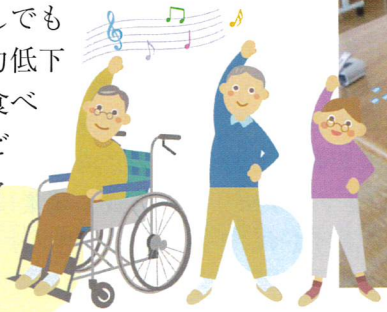
トピックス「利用者様と一緒に」

介護医療院　虹　3階　景山康子

コロナ禍であり利用者様はレクや面会の制限が続いています。以前とは違う生活状況となりました。マスクをして頂き感染対策をしながら生活をされています。

そんな中、食事前に職員と利用者様が一緒にラジオ体操をし、手、足を動かす光景が続いています。ラジオ体操の音楽がなれば利用者様は習慣のように手、足を動かされています。職員の動きをみたりしながら出来る範囲で、無理せずに体操をされています。マスクの上からですが穏やかな表情で手、足を動かしておられます。

私たち介助者からすると少しでも身体を動かしていただき、筋力低下予防、免疫力アップ、食事を食べる前の準備という意識づけなどの目的があります。それを日々職員と一緒に出来ている事が素晴らしいと思います。



今後、感染対策をしながら今、出来ることを探していこうと思います。そして利用者様の心からの笑顔がみれるように、ひき続き支えていこうと思います。

活動紹介　島根県看護協会 松江支部の活動の一部を紹介します。

島根県看護協会松江支部は、支部長を含む14名の役員で活動をしています。年10回の会議を行いながら活動を進めています。機関紙「しののめ」の発行も重要な活動の１つです。新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い活動も粛正していましたが、with コロナということで感染対策を取りながら活動を進めています。

研修会事業

今の医療現場での状況から、皆様の仕事や日常に役立てていただけるような研修の企画に努力しています。
研修に参加してくださった皆様の「参加して良かった」の言葉は、私たちへの最高の誉め言葉です。

まちの保健室事業

地域の方の健康維持・増進のために各種測定や相談を行っています。また、高校生や大学生など、あまり健康について意識しない世代に、健康について考えてもらうきっかけづくりを行っています。
また、今後の看護職員の確保に向け、高校生・中学生に看護職の仕事知ってもらうため県の看護協会センターにサポートしていただきながら、各学校に出向き「進学ガイダンス」を行っています。

※写真はコロナ禍以前のものもありますのでご了承ください。

編集後記

広報しののめ78号をお読みいただきありがとうございます。コロナ禍でありイベントなど自粛せざるを得ない状況が続いています。そんな中ですが、それぞれの場所で皆さんが多岐にわたって活動されていらっしゃることが伝わりました。また島根県看護協会松江支部の活動については再認識をしました。今後この活動を一緒にしていく仲間づくりができればと思っています。今回、原稿作成、編集にご協力いただきました会員のみなさまに心より感謝申し上げます。まだまだ寒い中ですが今後も健康に留意しながらお過ごし下さい。